



平成30年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成29年7月31日

上場会社名 株式会社一蔵 上場取引所 東
 コード番号 6186 URL http://www.ichikura.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 河端 義彦
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経営企画室長 (氏名) 渡邊 正樹 TEL 03-5288-7111 (代表)
 四半期報告書提出予定日 平成29年8月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第1四半期の連結業績（平成29年4月1日～平成29年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第1四半期	3,794	7.5	130	△55.0	131	△54.2	75	△58.6
29年3月期第1四半期	3,530	—	289	—	287	—	182	—

(注) 包括利益 30年3月期第1四半期 77百万円 (△58.4%) 29年3月期第1四半期 186百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第1四半期	13.83	—
29年3月期第1四半期	33.39	—

(注) 平成29年3月期第1四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、平成29年3月期第1四半期の対前年同四半期増減率については記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年3月期第1四半期	15,963	5,437	34.1	992.70
29年3月期	15,482	5,584	36.1	1,019.58

(参考) 自己資本 30年3月期第1四半期 5,437百万円 29年3月期 5,584百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	0.00	—	41.00	41.00
30年3月期	—	—	—	—	—
30年3月期(予想)	—	0.00	—	37.00	37.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

29年3月期期末配当の内訳 普通配当 36円00銭 東京証券取引所市場第一部指定記念配当 5円00銭

3. 平成30年3月期の連結業績予想（平成29年4月1日～平成30年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	7,687	5.6	230	△56.0	232	△56.1	130	△61.3	23.79
通期	16,791	8.4	1,152	11.2	1,163	2.1	779	2.5	142.34

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	30年3月期1Q	5,477,300株	29年3月期	5,477,300株
② 期末自己株式数	30年3月期1Q	－株	29年3月期	－株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	30年3月期1Q	5,477,300株	29年3月期1Q	5,477,300株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（四半期決算補足説明資料の入手方法について）

当社は、平成29年8月4日（金）に四半期決算補足説明資料をT D n e t へ開示後、当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間（平成29年4月1日から平成29年6月30日まで）におけるわが国経済は、企業業績や雇用環境の改善などを背景に緩やかな回復基調となりましたが、個人消費については依然、実質所得の伸び悩みや節約志向の定着により先行き不透明な状況で推移いたしました。

（和装事業）

呉服業界におきましては、産地工房の職人など作り手の高齢化や消費者のライフサイクルの変化などの影響により市場の縮小傾向が続いておりましたが、昨今、振袖を中心としたレンタル需要や着方教室をきっかけに呉服販売等が盛んになりつつあること、以前は資産として高価な着物を所有し特別な機会にのみ着用することが多い傾向にありましたがファッションとして“着て”楽しむ消費者層が増加（「所有」から「使用」へと変化）するなどの兆しが見られること、また、経済産業省が国内和装産業の振興を図るため一般社団法人全国きもの振興会が定める「きもの日」（11月15日）に和服で執務を行う取り組みが行われるなど、引き続き大きな市場があると考えております。

このような環境下におきまして、当社グループは積極的な広告宣伝や当社グループ店内外における催事の開催により、特に振袖の販売、成人式の前撮り写真撮影などの受注獲得に努めてまいりました結果、当第1四半期連結累計期間の和装事業の売上高は2,579,910千円（前年同四半期比15.2%増）となりましたが、セグメント利益は広告宣伝費や催事関連費用の増加等により155,867千円（前年同四半期比21.2%減）となりました。

（ウェディング事業）

ウェディング業界におきましては、少子化により結婚適齢期を迎える人口が減少していることや未婚化などの影響により婚姻組数の減少傾向が続いている（厚生労働省「平成28年（2016）人口動態統計の年間推計」）一方、市場規模は1兆4千億円台をほぼ横ばいで推移（矢野経済研究所「ブライダル市場に関する調査結果2017」）しております。

このような環境下におきまして、当社グループは積極的な広告宣伝、広告やブライダルフェアのコンテンツの見直し、挙式・披露宴を演出する新サービスの提供などに努めてまいりましたが、少人数婚の施行組数の増加、及び平成29年8月5日リニューアルオープン予定の譲受式場「ネオス・ミラベル」に係る先行投資の発生等により、当第1四半期連結累計期間のウェディング事業の売上高は1,214,931千円（前年同四半期比5.9%減）となり、セグメント利益は176,810千円（前年同四半期比40.3%減）となりました。

（全社）

上記の結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高3,794,842千円（前年同四半期比7.5%増）、営業利益130,546千円（前年同四半期比55.0%減）、経常利益131,625千円（前年同四半期比54.2%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益75,777千円（前年同四半期比58.6%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産は15,963,343千円（前連結会計年度比3.1%増）となりました。

流動資産の残高は7,200,907千円（前連結会計年度比4.8%減）となりました。これは主に現金及び預金が422,033千円減少したことによります。

固定資産の残高は8,762,435千円（前連結会計年度比10.7%増）となりました。これは主に土地が367,135千円、建設仮勘定が543,205千円増加したことによります。

負債につきましては10,526,021千円（前連結会計年度比6.4%増）となりました。

流動負債の残高は8,255,868千円（前連結会計年度比4.4%増）となりました。これは主に短期借入金が400,000千円増加したことによります。

固定負債の残高は2,270,152千円（前連結会計年度比13.9%増）となりました。これは主に長期借入金が265,640千円増加したことによります。

純資産につきましては5,437,322千円（前連結会計年度比2.6%減）となりました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純利益75,777千円を計上した一方で、配当金を224,569千円支払ったことによります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第1四半期連結累計期間の業績は順調に推移しており、平成29年5月10日の「平成29年3月期 決算短信」で公表いたしました第2四半期連結累計期間及び通期の業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,609,938	3,187,904
売掛金	699,844	563,532
商品	1,455,492	1,627,300
レンタル商品	1,184,386	1,174,038
仕掛品	274,073	307,249
原材料及び貯蔵品	88,336	101,734
繰延税金資産	50,930	29,515
その他	204,416	209,630
流動資産合計	7,567,419	7,200,907
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	4,147,443	4,085,357
土地	993,412	1,360,548
建設仮勘定	580,683	1,123,888
その他(純額)	333,136	308,906
有形固定資産合計	6,054,676	6,878,701
無形固定資産		
ソフトウェア	102,265	94,014
のれん	105,310	99,115
その他	191,968	219,138
無形固定資産合計	399,544	412,268
投資その他の資産		
投資有価証券	248,788	250,644
出資金	100,178	100,178
敷金及び保証金	957,804	965,081
繰延税金資産	128,601	131,433
その他	24,998	24,128
投資その他の資産合計	1,460,370	1,471,465
固定資産合計	7,914,591	8,762,435
資産合計	15,482,010	15,963,343

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	730,157	607,325
短期借入金	2,100,000	2,500,000
1年内返済予定の長期借入金	408,987	463,987
未払金	437,944	382,519
未払費用	319,675	311,917
未払法人税等	285,403	54,363
前受金	3,525,216	3,798,700
預り金	24,773	38,258
賞与引当金	4,745	9,490
その他	67,479	89,307
流動負債合計	7,904,382	8,255,868
固定負債		
長期借入金	1,006,649	1,272,289
資産除去債務	250,213	251,068
退職給付に係る負債	352,748	362,149
役員退職慰労引当金	312,266	12,073
その他	71,223	372,573
固定負債合計	1,993,100	2,270,152
負債合計	9,897,482	10,526,021
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,002,201	1,002,201
資本剰余金	991,501	991,501
利益剰余金	3,567,680	3,418,888
株主資本合計	5,561,383	5,412,590
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	23,144	24,731
その他の包括利益累計額合計	23,144	24,731
純資産合計	5,584,527	5,437,322
負債純資産合計	15,482,010	15,963,343

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)
売上高	3,530,521	3,794,842
売上原価	1,349,890	1,417,381
売上総利益	2,180,631	2,377,461
販売費及び一般管理費	1,890,707	2,246,914
営業利益	289,923	130,546
営業外収益		
受取利息及び配当金	1,926	1,308
受取手数料	2,500	1,983
その他	900	3,594
営業外収益合計	5,326	6,885
営業外費用		
支払利息	6,972	5,389
その他	979	417
営業外費用合計	7,952	5,807
経常利益	287,297	131,625
特別利益		
固定資産売却益	0	—
特別利益合計	0	—
特別損失		
固定資産除却損	1,893	—
特別損失合計	1,893	—
税金等調整前四半期純利益	285,405	131,625
法人税、住民税及び事業税	73,613	37,584
法人税等調整額	28,894	18,263
法人税等合計	102,507	55,847
四半期純利益	182,897	75,777
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	182,897	75,777

（四半期連結包括利益計算書）
（第1四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第1四半期連結累計期間 （自 平成28年4月1日 至 平成28年6月30日）	当第1四半期連結累計期間 （自 平成29年4月1日 至 平成29年6月30日）
四半期純利益	182,897	75,777
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	3,224	1,586
その他の包括利益合計	3,224	1,586
四半期包括利益	186,121	77,363
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	186,121	77,363
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

I 前第1四半期連結累計期間（自平成28年4月1日至平成28年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	和装事業	ウエディング 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,239,640	1,290,881	3,530,521	—	3,530,521
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	2,239,640	1,290,881	3,530,521	—	3,530,521
セグメント利益	197,888	296,066	493,955	△204,031	289,923

(注) 1. セグメント利益の調整額△204,031千円は本社管理費であります。

2. セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益と調整しております。

II 当第1四半期連結累計期間（自平成29年4月1日至平成29年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	和装事業	ウエディング 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,579,910	1,214,931	3,794,842	—	3,794,842
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	2,579,910	1,214,931	3,794,842	—	3,794,842
セグメント利益	155,867	176,810	332,677	△202,130	130,546

(注) 1. セグメント利益の調整額△202,130千円は本社管理費であります。

2. セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益と調整しております。